

第2期

中山校区まちづくりプラン

令和5年度(2023年)～令和9年度(2027年)

ふるさとの自然と歴史に学び、
「結の精神」で「やる気」と「自信」と
「誇り」に満ちた活気あふれる中山校区

中山校区まちづくり協議会



《目次》

1. 計画の期間	P 1
2. 策定のねらい	P 1
3. 校区の概要	P 2
4. 校区の現状は	P 3～4
5. 各部会の現状と課題	P 5～1 0
6. まちづくりの目標	P 1 1
7. 推進組織と主な活動	P 1 2
8. 具体的な取り組み	P 1 3～1 8
まちづくりプラン策定の経緯・まちづくりプラン策定委員会委員	… P 1 9
9. 資料編	P 2 0
① 意見・要望等	P 2 1
② 写真で見る校区行事と自然・文化	P 2 2～2 3
③ 史跡・安心安全マップ（見開き）	P 2 4～2 5

1 計画の期間

令和5年度(2023年)～令和9年度(2027年)

2 策定のねらい

自分たちの住む地域をどんなまちにしていきたいか将来像を思い描き、多様な地域課題の解決に取り組んでいくために、向こう5年間のまちづくりの指針として推進計画を策定するものです。



3 校区の概要

私たちの中山校区は、藩政以前の時代から谷山の穀倉地帯として、農耕を中心に、集落及び隣同士の「結（ゆい）」の精神を基に絆を強め、助け合い励まし合いながら、どんな時代でも強靱でたくましく生き抜いてきた歴史と誇りを持ち続けてきた地域です。しかし現在は、急激な都市化・住宅化が進み、生活を取り巻く環境も激変、住民の価値観も多様化しています。そのため、地域住民は助け合いの精神で明るく住み良いまちづくりに取り組んでいます。

《1》人口 男9,174人 女10,143人 計19,317人（2020年国勢調査）

《2》世帯数 7,411戸（同）

《3》町内会加入世帯 23町内会、2,706戸（2022年4月協議会調査）

加入率=約37%

《4》町内会別加入世帯（同）

鹿倉45、立迫31、一丁田185、札下94、山田下170、境田住宅46、谷地区10、皇徳寺66、山之園62、上西86、白山78、滝ノ下112、平馬場88、大園65、福永103、真方114、自由ヶ丘1区385、自由ヶ丘2区303、辺田47、水喰55、牟田175、椿山61、中山団地325

《5》主な自然環境等

永田川、牟田池、滝ノ下の大滝、旧伊作街道

《6》伝統文化・史跡等

山田の鉦踊（市指定無形民俗文化財）、中山下の虚無僧踊（県指定同）

皇徳寺跡、帝釈寺跡

《7》主要施設等

中山小、谷山北中、鹿児島ふれあいスポーツランド、谷山北公民館、谷山北福祉館、鹿児島南警察署中山交番、鹿児島市消防局谷山北分遣隊、鹿児島県医療法人協会立看護専門学校

こむ そうおどり
中山下虚無僧踊

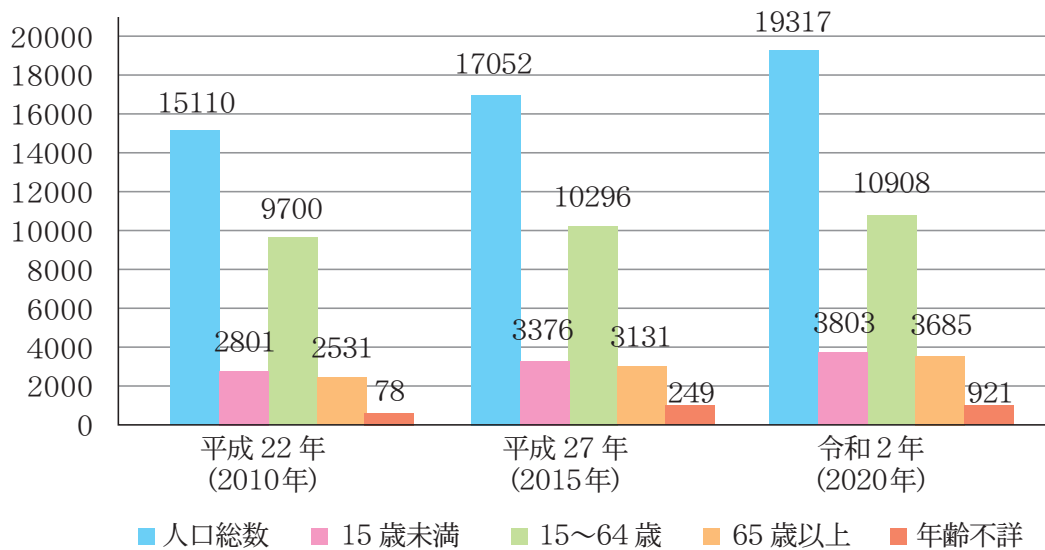


かね おどり
山田鉦踊



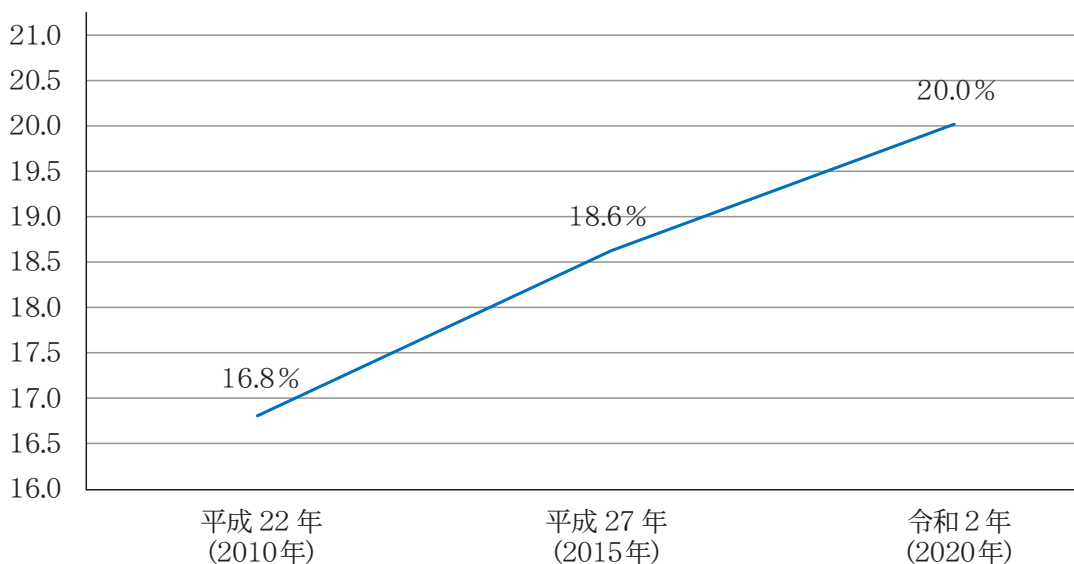
4 校区の現状は

人口・年齢構成 (単位：人)



校区は住宅化により人口は年々増加の傾向に有り、それにつれて各年齢層の人口も増えている。特に若年層の増加が見られる。

高齢化率 (単位：%)



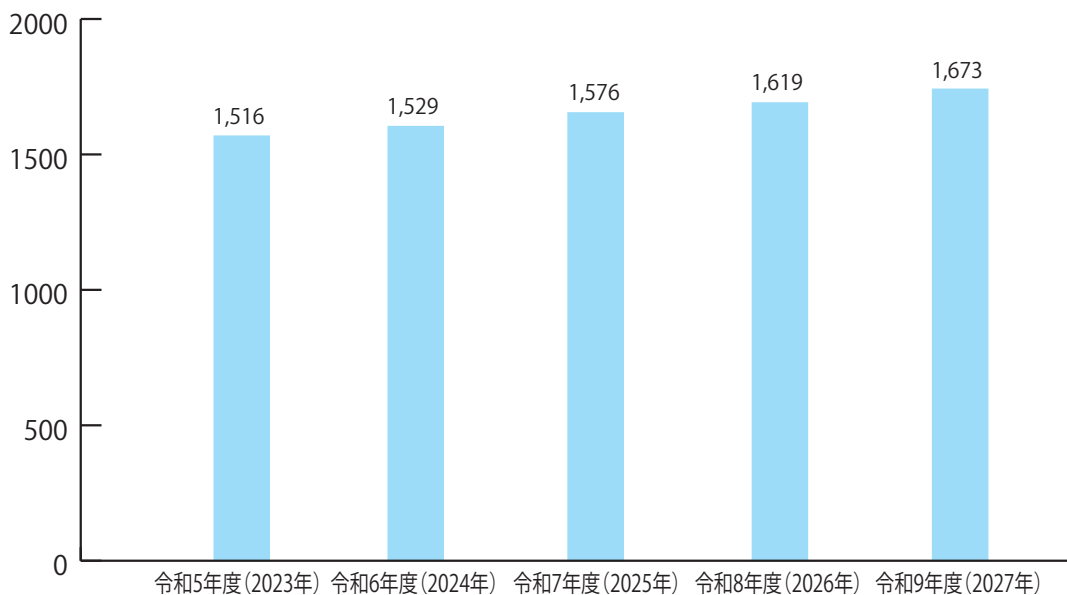
校区は高齢化も進み、平成 22 年からの 10 年間で高齢化率が 3.2% 高くなっている。

谷山地区16校区の世帯数、人口の推移 (国勢調査をもとに作成)

区 分	平成22年(2010年)				平成27年(2015年)				令和2年(2020年)			
	世帯数	人口			世帯数	人口			世帯数	人口		
		総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女
谷山小学校	7,773	18,920	8,695	10,225	7,395	17,432	8,058	9,374	7,735	17,334	8,029	9,305
西谷山小学校	3,565	9,479	4,440	5,039	4,045	11,211	5,559	5,652	4,364	11,228	5,281	5,947
東谷山小学校	7,588	17,807	8,836	8,971	7,814	17,282	8,222	9,060	8,048	17,529	8,672	8,857
清和小学校	6,493	15,124	7,193	7,931	6,964	15,614	7,464	8,150	7,379	15,820	7,552	8,268
和田小学校	5,471	13,701	6,558	7,143	5,572	13,421	6,419	7,002	6,003	13,436	6,468	6,968
錦江台小学校	5,671	13,684	6,514	7,170	5,561	13,099	6,260	6,839	5,722	12,645	6,045	6,600
福平小学校	6,013	14,831	7,193	7,638	6,254	15,069	7,211	7,858	6,558	15,395	7,438	7,957
平川小学校	521	1,297	591	706	491	1,260	581	679	477	1,195	553	642
錫山小学校	158	396	183	213	154	362	173	189	135	274	132	142
中山小学校	5,605	15,110	7,145	7,965	6,370	17,052	8,044	9,008	7,411	19,317	9,174	10,143
桜丘西小学校	2,563	6,628	3,133	3,495	2,561	6,291	2,920	3,371	2,604	6,162	2,853	3,309
桜丘東小学校	3,246	7,542	3,463	4,079	3,182	7,137	3,294	3,843	3,170	6,735	3,112	3,623
星峯西小学校	2,430	6,562	3,065	3,497	2,745	7,352	3,456	3,896	2,733	7,028	3,287	3,741
星峯東小学校	2,275	6,164	2,858	3,306	2,308	5,701	2,635	3,066	2,178	5,064	2,339	2,725
宮川小学校	2,204	6,430	3,022	3,408	2,179	5,981	2,790	3,191	2,077	5,092	2,392	2,700
皇徳寺小学校	2,358	7,343	3,480	3,863	2,354	6,845	3,213	3,632	2,435	6,529	3,062	3,467

上の表の通り、2010(平成22)年から2020(令和2)年まで10年間の推移をみると、谷山地区16校区のうち、世帯数、人口共に、中山校区の増加傾向が突出していることが分かる(中山校区は、過去10年間で世帯数35%、人口で30%の伸び)。中山と同様に宅地開発が進む清和小校区(12%~13%増)を除くと、他の13校区の大半は人口の変動が横ばいまたは微増減にとどまっている。

令和5年度~9年度の中山小学校の児童数の見込み(単位:人)



中山小学校の児童数は、これまで同様に右肩上がり傾向が続いている。令和4年度から鹿児島市教育委員会の主導のもと、「中山小校区における調整区域の指定及び指定学校変更申立に関する手続き」が可能になり、中山小学校の児童のみ清和小学校を除く近隣の学校を自由に選択することができるようになった。このことにより、令和5年度の児童数については、若干の変動があると思われる。

令和4年12月(中山小学校推計)

5 各部会の現状と課題

総務部会

《現状》

- 協議会の運営方針の検討・決定、各部会との連携・調整については、感染拡大防止の観点から苦慮している。
- 構成・協力団体等、校区内外の関係機関団体との連絡調整については、感染拡大防止対策を講じながらほぼ計画通りできている。
- 人材の発掘・育成については、スムーズな世代交代ができるよう後継者等の発掘・育成を常に意識した活動に努めている。
- 校区内の歴史文化遺産の案内板を5か所に設置するとともに、毎年史跡巡りを実施するなど史跡等の発掘・調査・保存活動に努めている。
- 協議会の活動や行事等を啓発・広報するため会報を年2回発行している。



《課題》

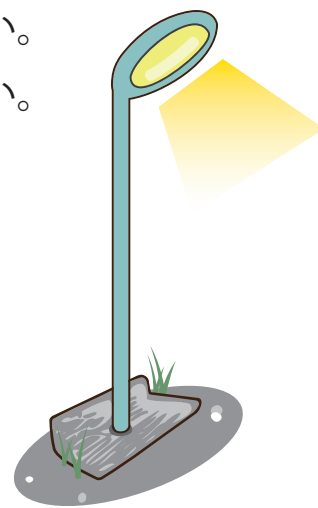
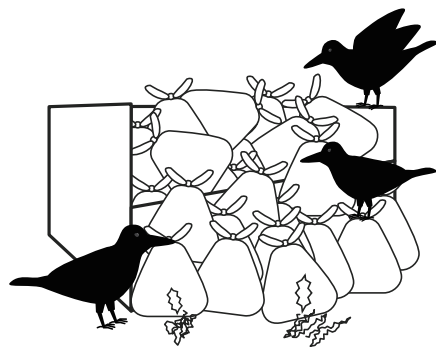
- 感染拡大防止の観点から密集を伴う事業を中止せざるを得なかった。
- 校区内の自然環境、文化・歴史遺産等の調査・保存・活用法の更なる強化・確立が求められている。
- 魅力ある広報紙づくりと広報活動の充実・強化を図る必要がある。



町内会振興部会

《現状》

- 町内会への加入率が低い。
- 町内会役員が輪番制になっている。
- 地域の若い後継者がいない。
- 町内会の規模に大きな格差がある。
- 町内会加入のメリットが分からない。
- ゴミステーションのルールが守られていない。
- 通学路などに防犯灯が少なく危険箇所が多い。



《課題》

- 積極的な勧誘・加入促進に努める。
- 未加入の要因（役員が輪番制、行事の強制参加等）を検討する。
- 若い人材の確保を図る。
- 小規模町内会の集約を検討する。
- 「安心安全」を目指す活動の広報に努める。



《現状》

- 歩道のない狭い道路が多く車両通行量も多いため、交通事故の危険性が高い。
- 子どもたちが増えているが、子どもたちの安心安全に向けた地域の見守り活動が醸成されていない。
- 災害危険区域が、洪水浸水区域や土砂災害区域など広範に及ぶ。
- 高齢世帯や子育て世帯が増加する中、孤立世帯の潜在化が懸念される。



《課題》

- 関係機関、団体と連携した通学路の交通安全対策が必要である。
- 災害時に地域が助け合い、一丸となって対応できるコミュニティ「まちづくり協議会」「町内会」「自主防災会」の一層の充実と活動の強化が求められている。
- 災害時の要避難支援者の対応策が必要である。
- 高齢世帯や孤立世帯への防犯、交通安全対策が必要である。



文化教育部会

《現状》

- 校区の人口は増加しているが、町内会やあいご会への新規加入世帯が少なく、脱退する世帯も増加している。
- 住民の地域行事への関心が薄れ、参加者の確保も難しい。
- 地域で子どもを育てることへの大人の関心が少ない。
- 教職員（管理職を除く）の地域行事への参加者が少ない。



《課題》

- 校区行事の内容の見直し、充実を図ることで、行事への関心・意識を高め参加促進につなげる。
- 子育て世帯の教育のあり方を考える。
- 関係機関・団体等との連携を図る。（青少年育成部会、^{おやじ}親児の会、保護者セミナー等）



社会体育部会

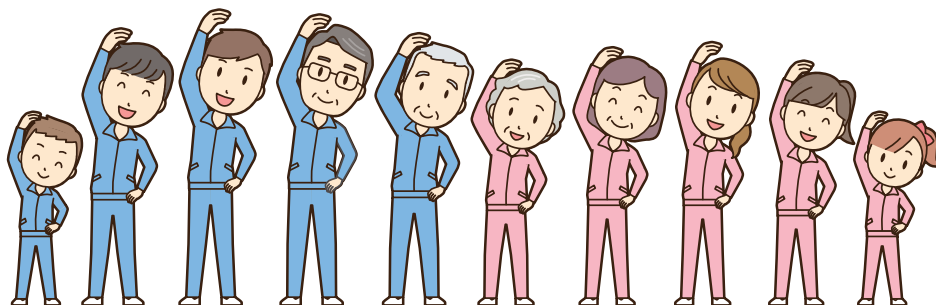
《現状》

- スポーツを通じて、校区民の親睦・融和、健康増進のための行事や活動を実施している。
- 感染拡大防止の観点からスポーツ関連の行事が開催されていない。
- グラウンドゴルフ大会への参加は同好会頼みとなっているが、会員の高齢化に伴い活動を中止する同好会もある。



《課題》

- スポーツ関連の行事が数年開催されていないことで、行事の経験者が少なくなり運営面で苦慮している。
- 学校や町内会行事の開催方法が変更になったことで、校区行事等の引き継ぎが出来ていない状況もみられる。
- あいご会への加入率が低い町内会から運動会等の行事への不参加を申し出る地区もある。



青少年育成部会

《現状》

- 「史跡巡り」と「さつまっ子育成大会」の2つの行事を実施している。
- 毎月「青少年育成の日」(第3土曜日)の活動と広報活動を行っている。
- 校区には24町内会があるが、あいご会の存在しない、または消滅した町内会もある。
- 校区あいご会主催の「夏祭り」や「球技大会」への協力を行う。



《課題》

- 「史跡巡り」や「さつまっ子育成大会」の内容について検討を重ね中高生や大人の参加も促していく必要がある。
- あいご会組織のない町内会に居住する子どもたちへの対応を考える必要がある。(近隣あいご会への加入促進)
- 子どもたちの自然体験や社会体験等の活動機会を増やす必要がある。
- 子どもたちの健全育成についての学習の場と意識改革を図る。
- 各関係育成団体との連携強化を図る。



6 まちづくりの目標

スローガン

ふるさとの自然と歴史に学び、「結の精神」で
「やる気」と「自信」と「誇り」に満ちた
活気あふれる中山校区

目指す未来像

《基本目標》

- 1 「自分たちの校区は自分たちで」をモットーに
自助の精神で町内会活動が充実するまちづくり



- 2 将来「希望」と「自信」と「誇り」を持てる
青少年育成とふるさとづくり

- 3 「声かけ」や「見守り」の行き届いた心温かい
まちづくり



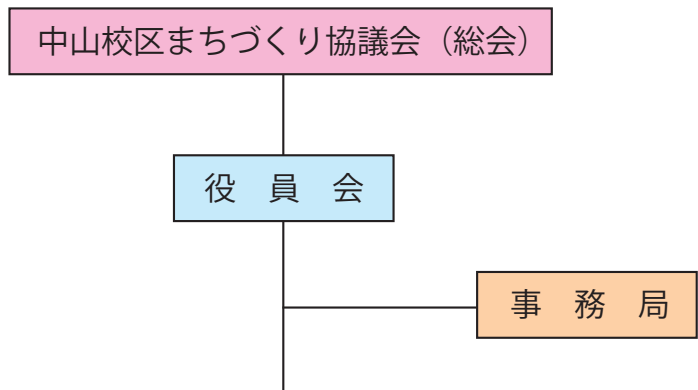
- 4 向こう三軒両隣の助け合いの精神で明るい
まちづくり

- 5 「思いやり」に満ち「自助・共助・公助」の力で安全で
安心な犯罪のないまちづくり



- 6 「温故知新」と「結の精神」で校区の特色を
生かした環境づくり

7 推進組織と主な活動



ふるさと自然と歴史に学び「結の精神」で「やる気」と「自信」と「誇り」に満ちた活気あふれる中山校区	部会	基本方針	主な活動	主な事業
	総務部会	各機関・団体の連携を図った住み良い生活環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○組織充実活動 ○ふれあい活動 ○広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関・団体の連絡調整 ・校区クリーン作戦 ・文化財・自然環境の保護 ・人材の育成 ・ホームページの開設 ・広報紙の発行
	町内会振興部会	全員参加を目指した町内会の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい交流活動 ○町内会活性化活動 ○環境美化活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会加入促進運動 ・町内会役員研修会 ・町内会との懇談会（不法投棄、ゴミ問題） ・町内会区域の明確化
	安心安全部会	住民が安心安全して暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯活動 ○交通安全活動 ○防災活動 ○高齢者安全活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・青パト巡回、防犯パトロール ・防災・避難訓練 ・危険箇所点検 ・孤立世帯対策
	文化教育部会	文化水準の向上と文化的行事を通したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学習活動 ○社会教育団体育成活動 ○文化活動 ○地域公民館連携活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学級の実施（成人、女性、家庭教育学級） ・校区文化祭の開催 ・校区あいご夏祭り ・伝統芸能の保存・継承 ・文化講演会の開催
	社会体育部会	スポーツ活動を通じた住民の親睦・健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくり活動 ○団体育成活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区運動会の開催 ・球技大会の開催 ・グラウンドゴルフ大会 ・高齢者等の軽スポーツの推進
	青少年育成部会	小中学校やあいご会などの諸機関の団体と連携を図り次世代を担う青少年の健全育成を守り育むまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○育成大会活動 ○体験活動 ○世代間交流活動 ○地域行事参加活動 ○団体育成活動 ○校区内危険防止活動 ○校区内防犯活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいグラウンドゴルフ大会 ・校区あいご会総会 ・校区あいご球技大会 ・史跡巡り ・さつまっ子育成大会 ・生活環境点検調査

8 具体的な取り組み

総務部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継 新
				短 期	中 期	長 期	
1	校区クリーン 作 戦	校区内一斉の清掃活動	地域住民の環境保全・ 美化意識の向上	○			継
2	広報紙の発行	広報「ちゅうざん」を年 2回発行・全戸配布	啓発・広報活動による 情報の共有、PR	○			継
3	文化財・自然 環境の保護	自然環境の保護(牟田池、 真方の堰、滝ノ下の公園 化整備等) 文化・歴史遺産の保全 (史跡の案内板・写真の 整備、伝統芸能の継承)	自然環境や文化財を 活かしたまちづくり			○	継
4	人材の育成	・社会学級等の充実 ・研修・講習会	地域活動を担う住民・ 後継者の育成	○			継
5	ホームページ の 開 設	専用サイトを活用し、校 区の活動を内外に紹介	ネット活用による情 報発信			○	新
6	専門部活動の 統括と調整	総会の招集、部会活動の 連絡調整、取りまとめ	6専門部会間の連絡・ 調整・統括を行う	○			継

(第2期プランの取り組み)

- ※ 第1期で実施できなかった事業等を検証し、必要に応じて再構築する。
- ※ 町内会境界の調整と加入率向上を支援する。
- ※ 各部会の効率・効果的運営と校区住民の参加・協力体制の強化を推進する。
- ※ 新たな感染症等の発生に対応できる柔軟な活動体制を構築する。

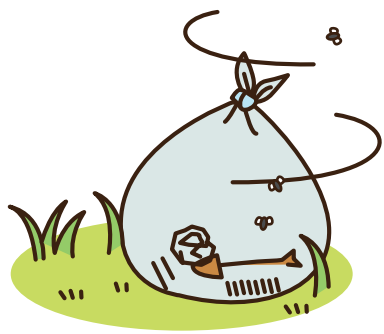


町内会振興部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継新
				短期	中期	長期	
1	町内会役員の研修会	町内会で抱えている課題のまとめ	・町内会加入率の向上 ・負担軽減により、役員の担当継続を図る		○		継
2	町内会との懇談会	ごみ問題に関する合同研修・親睦会の開催	・活動費の資金集め ・マナーの改善・啓発		○		継
3	町内会の区域の明確化と新設の検討	不明の町内会境界の確定、空白地域の削減	・町内会の加入促進を図る		○		継

(第2期プランの取り組み)

- ※ 関係部署への働きかけ
- ※ 町内会との意見交換会や町内会役員の研修会
(外部講師を招いての勉強会)
- ※ 寄せられた意見や要望等の再検討



安心安全部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継 新
				短 期	中 期	長 期	
1	青パト活動	防犯パトロール	事件や事故の予防			○	継
		子どもたちの見守り活動	子どもたちの安全安心と健全育成			○	継
2	交通安全活動	交通危険箇所の点検	危険箇所を把握し、関係機関と連携した危険箇所の除去			○	継
		「横断歩道は手を挙げてあいさつ」運動	運転者・歩行者相互の思いやりで横断歩道での事故防止		○		新
		ミニ交通安全指導	各種イベントを活用したミニ交通安全講話や実技		○		新
		高齢者の交通安全指導	町内会、民生委員などと連携した交通安全指導		○		新
3	防災活動	校区防災訓練	校区民の防災意識の醸成 各自主防災会の連携			○	継
		自主防災会の訓練支援	地域の災害危険実態に 適応した訓練の支援		○		新
			地域の要避難支援者への 適切な対応		○		新
4	孤立世帯対策	孤立世帯への声かけ	行政、各団体、学校などと連携した孤立世帯の把握と支援		○		新

(第2期プランの取り組み)

- ※ 事故や事件の未然防止に向けた、きめ細かな青パト活動の展開
- ※ 通学通勤時間帯の横断歩道事故防止を重点とした、交通安全活動の推進
- ※ 大規模災害に備えた、各町内会自主防災組織の連携強化
- ※ 地域の災害危険実態に応じた、各自主防災組織の訓練支援
- ※ 高齢世帯や孤立世帯の把握と声かけ活動の推進



文化教育部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継新
				短期	中期	長期	
1	成人・女性学級の開設	・講話・実習・演習等	・生涯学習活動の推進・充実	○			継
2	家庭教育学級の開設	・講話・実習・演習等	・家庭教育の充実	○			継
3	あいご夏祭り	・舞台発表、模擬店出店	・ふれあい交流 ・仲間意識 ・地域との連携	○			継
4	校区文化祭	・舞台・展示発表・模擬店・バザー	・学習成果発表 ・地域ふれあい ・地域との連携	○			継
5	伝統芸能の保存・継承	・中山下虚無僧踊、山田の鉦踊等の保存・継承活動	・地域文化財の保存・伝承・研究 ・地域のふれあい	○			継
6	文化講演会の開催	・教育講演会等の開催	・文化・教育意識の向上 ・さつまっ子育成		○		継
7	地域おやじの会開設	・ボランティア活動 ・保護者セミナー ・地域・学校との連携	・子育て意識改革 ・意識向上 ・親同士の意見交換、ふれあい			○	新

(第2期プランの取り組み)

- ※ 行事内容の見直しや新たな取り組みについて検討する。
- ※ 子どもたちが充実し、9年間の義務教育の中で地域における故郷（ふるさと）意識をしっかりと持てるような取り組みを目指す。
- ※ 第1期プランで出来なかった内容を見直し、さらに取り組む。



社会体育部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継新
				短期	中期	長期	
1	スポーツ少年団結団式	・講話、結団式	少年団活動及び団員同士の交流	○			継
2	校区グラウンドゴルフ大会	・校区住民が気軽に参加できるスポーツ	健康・体力づくり及び交流	○			継
3	校区運動会	・校区住民総参加によるスポーツ大会	親睦・融和及び連帯をたかめる交流	○			継
4	谷山北ブロックソフトバレー大会	・スポーツ推進委員による実行委員会が開催	校区の枠を超えた地域間スポーツ交流	○			継
5	高齢者等の軽スポーツの推進	・高齢者を対象にした軽スポーツの普及・啓発	高齢者の健康・転倒事故予防のための体力づくり	○			継
6	ニュースポーツ講習	・ニチレク等ニュースポーツの指導・普及	日本レクリエーション協会等のニュースポーツの普及・啓発		○		継

(第2期プランの取り組み)

- ※ 内容や開催方法等の見直しを検討し、参加し易い行事の実施に取り組む。
- ※ 関係団体と連携し、ニュースポーツの啓発等に中期的に取り組む。



青少年育成部会

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継新
				短期	中期	長期	
1	校区あいご会総会	講話・総会	・仲間づくり ・ふれあい交流			○	継
2	校区あいご球技大会	ドッジボール大会	・健康・体力づくり ・仲間づくり			○	継
3	校区史跡めぐり	講話・史跡探訪 伝統芸能鑑賞	・伝統史跡の保存 ・伝統芸能学習 ・ふるさと学習		○		継
4	校区「さつまっ子」育成大会	講話・講演・レクリエーション	・ふれあい交流 ・仲間づくり			○	継
5	生活環境点検調査	校区内点検・調査	・危険防止 ・犯罪防止		○		継

(第2期プランの取り組み)

- ※ 行事の名称や内容を含めて多くの参加を促すような仕組みを検討する。
- ※ 「青少年育成の日」を、より多くの皆さんに知っていただけるように広報活動の促進に取り組む。
- ※ あいご会の加入が減少していく中で、各関係団体と意見交換し加入促進を行う必要がある。
- ※ 生活環境点検調査を、より有効的に活用する方法を検討する。



まちづくりプラン策定の経緯

年 月 日	策 定 委 員 会	内 容
令和3年12月21日	プラン策定委員会準備会	プラン策定委員（案）選出
令和4年 1月27日	プラン策定委員会準備会	プラン策定予算（案）
令和4年 4月15日	令和3年度役員会	令和4年度総会資料の準備
令和4年 5月20日	令和4年度協議会定期総会	プラン策定計画承認
令和4年 6月 2日	第1回プラン策定委員会	各部会の事業反省、見直し
令和4年 6月30日	第2回プラン策定委員会	事業評価、現状と課題の集約
令和4年 7月29日	第3回プラン策定委員会	これまでの事業評価、地域の現状 ・課題の把握、将来像の設定
令和4年 8月30日	第4回プラン策定委員会	7月と同様の検討
令和4年 9月27日	第5回プラン策定委員会	7月と同様の検討
令和4年10月27日	第6回プラン策定委員会	コミュニティプラン原案作成
令和4年11月17日	第7回プラン策定委員会	コミュニティプラン原案作成
令和4年12月 8日	第8回プラン策定委員会	コミュニティプラン原案作成
令和5年 1月12日	第9回プラン策定委員会	校正作業
令和5年 1月26日	第10回プラン策定委員会	校正作業
令和5年 2月14日	第11回プラン策定委員会	校正作業
令和5年 2月28日	第12回プラン策定委員会	校正作業
令和5年 3月 7日	第13回プラン策定委員会	最終案の完成・配布先の確認
令和5年 3月17日	第14回プラン策定委員会	印刷発注
令和5年 5月 中旬	令和5年度協議会定期総会	プラン冊子の承認

まちづくりプラン策定委員会 委員

	役 職	氏 名	備 考
1	中山校区まちづくり協議会会長	山之内 勝 己	
2	同 副会長	堂 満 弘 光	総務部会長
3	同 副会長	末 永 忠 美	安心安全部会長
4	町内会振興部会長	原 田 俊 之	
5	青少年育成部会長	藤 元 一 弘	
6	社会体育部会長	徳 永 博 幸	
7	文化教育部会長	福 元 義 弘	校区あいご会長
8	事務局長	竹 下 道 夫	
9	監事	山 田 克 美	
10	監事	松 原 伸 作	

資料編



意見・要望等

〈取り組んで欲しい事〉

- ① 文化・スポーツ・歴史さまざまな活動は地域社会においてとても重要なことは、十分理解できます。しかしながら、町内会の活動を含め、地域の活動を推進して行くことが困難な環境です。そこで必要なことは絞り、次の世代（若い方）を中心としたメンバーを参加させて、無理のない計画づくりを希望します。
- ② 町内会の未加入世帯が多いです。町内会に加入しなくても何も困らない、そんな雰囲気があります。行政の方から町内会の必要性、ゴミステーションを町内会が維持管理している等々を書面にして配布・あるいは広報していく必要があると思います。
- ③ 中山地区には鹿児島市百選に選ばれた景勝地が4カ所あります。地域の特性を生かした町づくりを行政とタイアップして取り組んでほしいと思います。またコロナ禍で行事も出来ないので運動会に変わる行事を考える必要があると思います。
- ④ まちづくり協議会のもとで、校区全体が纏まっていることを実感しました。若い方々はメールやラインでの連絡を希望されます。メール等の開設はできないでしょうか。

〈校区クリーン大作戦〉

- ① 校区クリーン作戦は必要でしょうか。地域にゴミが無いことは素晴らしいことです。もっと活用できる（SDGs）クリーン作戦にしませんか。
- ② 牟田池周辺は危険なので草刈りは専門業者の方にしてほしい。

〈校区運動会〉

- ① 校区運動会は必要ですか。町内会、関係者含めてもう少し負担の少ないスポーツ大会等に替えられませんか。
- ② 高齢者が参加できるような種目を増やしてほしい。
- ③ コロナが落ち着いたらやってほしい。
- ④ 若年層の参加が少なく、選手の選定に苦慮している。運動会運営の工夫が必要ではないか。
- ⑤ 参加したい町内会のみで行うなどの抜本的見直しか、廃止を検討して頂きたい。

〈広報紙の発行〉

- ① 良いことと思う。

〈文化財・自然環境の保護・史跡めぐり〉

- ① 時間に余裕を持たせた、早めの広報をお願いしたい。

〈町内会役員の研修〉

- ① 中山校区の現状と課題について意見交換する場が欲しい。
- ② 運営に悩んでいたり重荷に感じていたりする町内会長の思いに寄り添う研修ではないと感じました。（義務ばかりだなあと感じます。）

〈町内会との懇談会〉

- ① コロナが落ち着けばあった方がよい。
- ② 人数を減らして会を実施してほしい。町内会の厳しい現状に対して、アドバイスやその他意見交換が出来れば今後の町内会活動に役立ちます。

〈町内会の区割りの明確化と新設検討〉

- ① 範囲が広いのももう少し縮小してほしい。
- ② 加入者を増やすためには良い。

〈校区防災訓練〉

- ① 消火訓練など現実に対応した訓練がより効果的だと思います。その他にも防災に合わせた訓練があると思われます。
- ② 高齢者がいつも見られるようなハザードマップがほしい。

写真で見る校区行事



史跡巡り（黒丸神社）



史跡巡り（白山神社）



校区運動会



地域防災検討会



校区クリーン作戦



グラウンドゴルフ大会



「心のふるさと」作品大会



さつまっ子育成大会



あいご夏祭り



校区文化祭



そば打ち体験講習会



女性学級校外学習



校区防災訓練

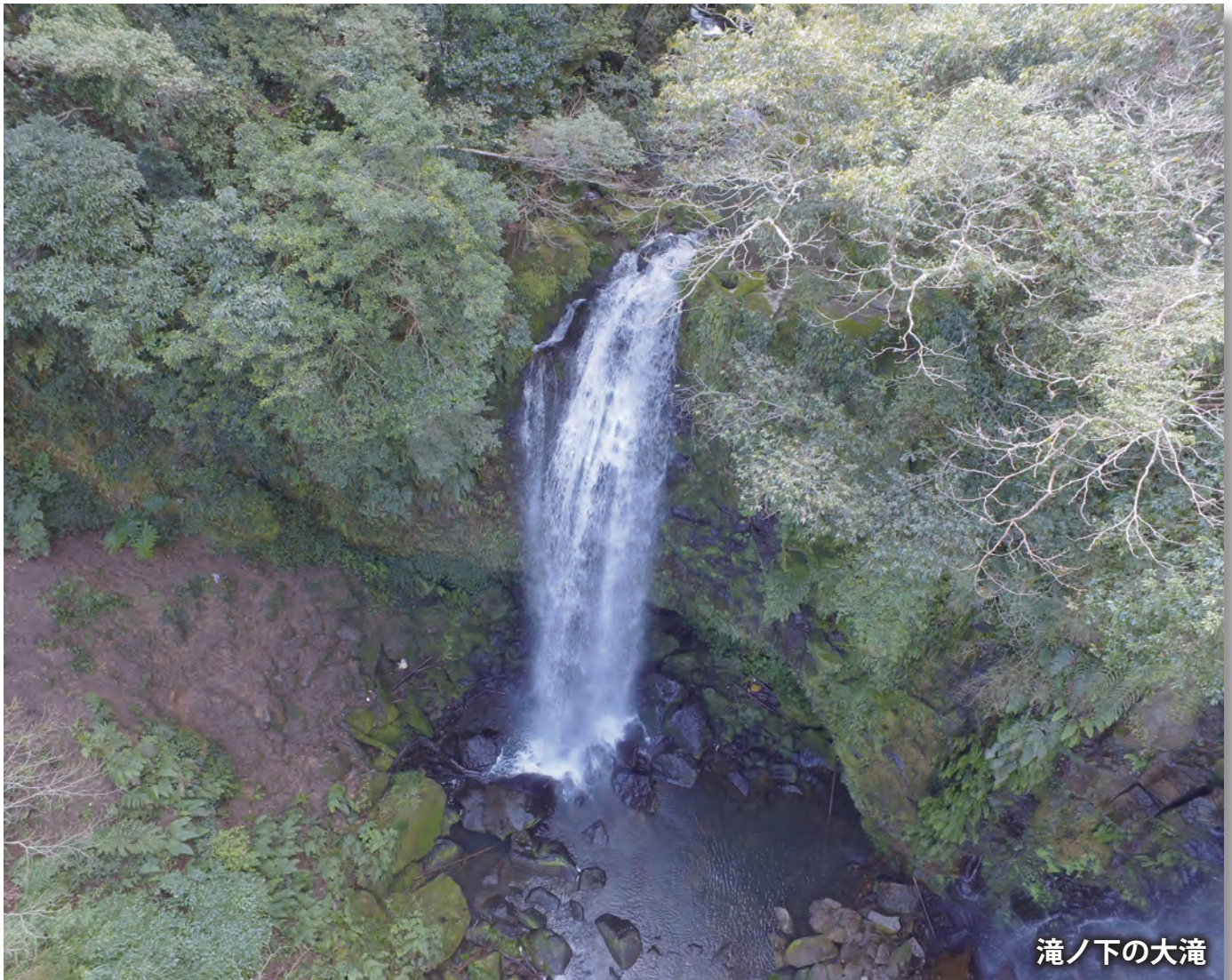


牟田池



永田川と真方の堰

豊かな自然に 息づく文化



滝ノ下の大滝

中山校区史跡・



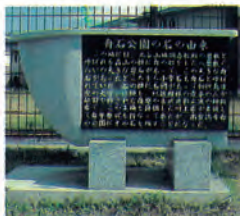
1 鹿倉の水天碑



2 石壇供養碑 (山田町立迫)



3 一丁田の田の神さあ
4 一丁田の二十三夜待碑



5 船石



6 いぼん神(山田下)



7 苦辛城跡



8 六地藏燈



9 皇徳寺の水神



10 我山・無外両和尚の墓



11 皇徳寺入口の仁王像



12 札下の田の神



13 山之田の石橋



14 皇徳寺の馬頭神



15 黒丸神社



16 大早魁の碑



17 山之園の馬頭神



18 山之園の水神



19 辺田の石敢当



21 稲荷大明神(辺田)



22 辺田の水神



23 旧伊作街道



24 帝釈寺跡



25 伊集院小伝次の墓



26 弁財天神(中山滝之下)



27 滝ノ下の馬頭神



〈大園バス停〉交通危険箇所②
(道路が狭く、交通量が多い)

安心安全マップ



28 滝之下田の神さあ

29 上西の水神

30 白山神社



31 旧町名名跡碑

32 平馬場の馬頭神

33 平馬場の山の神



34 いぼん神 (中山町白山)

35 上西の田の神さあ



36 辺田の田の神さあ

37 森どん

38 馬頭神 (森どん内)



39 大橋の水神

40 真方のいぼん神



41 真方の水神 (荒神)

42 真方の水神

43 かくれ念仏洞穴 (福永)



44 福永の田の神

45 小牟田の水神

- ④⑥ 功農霊神詞記碑
- ④⑦ 黒丸小跡
- ④⑧ 滝ノ下の山の神
- ④⑨ 白山小跡
- ⑤⑩ 椿山城跡

○印については史跡の確定ができないものです。

マップ凡例 防災関連

避難所	
施設名称隣の()は標高(※1)	
警察施設	
消防分団	
給水拠点	
防災行政無線	
地震時の避難場所	
津波避難ビル	
防災関係機関	
消防施設	
水防倉庫	
水位観測所	
AED設置箇所	

鹿児島市の防災マップ
2018より抜粋

※中山校区まちづくり協議会が2022年度に「史跡マップ」を修正しました。

編集・制作

中山校区まちづくり協議会

事務局 中山校区公民館

〒891-0108 鹿児島市中山二丁目30番3号
電 話 (099) 296-7113
F A X (099) 814-2866
E-mail tyuzan-mk@ace.ocn.ne.jp